

主な内容

商業統計調査結果……………1頁

省エネ運動推進……………1頁

県内会議所議員大会……………2頁

部会活動に新機構……………3頁



発行所
創立明治26年8月
宇都宮商工会議所
宇都宮市堀田1丁目
2番23号
〒320 電話22-7151(代)

編集者
金子浩蔵
印刷所 三共印刷株式会社

宇都宮市の人口 372,815人
当会議所会員 5,069人

商店街整備が今後の課題

第14回 市内商業統計調査結果

売上高の伸び鈍る 年にわずかか五・五%増

昭和五十一年から五十四年まで三年間の宇都宮市内の商店の売上高は、不況といわれた四十九年から五十二年の二年間より伸び率が鈍り、在庫商品の数がふえている。宇都宮市企画部がまとめた第十四回商業統計調査の結果わかったもので、市中心部を含め、市内商店街での商圏が狭少してきている問題が、クローズアップされる気配が濃厚なところである。

調査によると五十四年六月一日現在、宇都宮市内の商店数は七千三百十店、従業員は四万一千三百九十四人で、一商店当たりの平均従業員数は五・七人、年間販売額は一兆五千五百二十三億円、前回の調査(五十二年五月)に比べると二〇・二%の伸びとまとまっている。

前回の調査より〇・七%ふえているが、卸売業が千八百七十二店で三・二%減り、小売業が五千四百三十八店で二・二%ふえた。業種別にみると増加率が最も高かったのは婦人・子供服(小売)で二・八・三%増。一方、最も減少率が高かったのは繊維雑品(卸売)で三・九・三%の減となっている。卸売十二業種のうち減少したのには前記繊維雑品をトップに建築材料(食・飲料、家具・建具、じゅう器、再生資源、農畜産、水産物、機械器具の七業種)。

小売業では二十九業種のうち繊維雑品、陶磁器、ガラス器、じゅうたん、くつ、はきもの、洋服農耕用品など十三業種が減った。しかし、一四・二%にわたる千二百七十七店が、五十二年以降の開店となっており、三年間に商店数全体が急増していることがわかった。

前回の調査時よりも三・三%増の四万一千三百九十四人、うち卸売業は一万七千八百八十五人、一店当たり平均は五・七人で、前回の調査より〇・二八減っている。

年間商品販売額は一兆三千五百二十三億円、前回の調査より二〇・二%上回った。このうち卸売業が一兆二百七十一億円で全体の九一・二%を占めているが、伸び率は低く、三年間に二・七・五%の増加にとどまっている。これを年率にすると五・五%に過ぎない。一方、小売業も対前比一・九・五%で年率にすると九%で、卸・小売とも不況といわれた前回の調査の三年間より不況回復期といわれる今回三年間の方が伸び率が小さく、商業環境の変化に対する今後の対応が注目される。

販売額の増減を業種別にみると卸売業では医薬品、化粧品、建築材料の大幅伸びに対し、家具、建具、じゅう器、再生資源の減少が目立っている。小売業では農耕用品が伸びたのに対し、じゅう器、衣服、身の回り品などが減少している。

一店当たりの年間平均売上上げは増加にとどまっている。これを年率にすると五・五%に過ぎない。一方、小売業も対前比一・九・五%で年率にすると九%で、卸・小売とも不況といわれた前回の調査の三年間より不況回復期といわれる今回三年間の方が伸び率が小さく、商業環境の変化に対する今後の対応が注目される。

省エネ運動の推進

去る十月、当所第十二回会員大会において、四つの議案が満場の総意で可決されましたが、うち最も重要度が上がってきた「省エネの提言」を、二度声を大にして掲載します。ご協力下さい。

「最近における厳しい国際エネルギー情勢は、わが国経済にかつてない深刻な影響を及ぼすようとしており、政府においては、去る三月IEA(国際エネルギー機関)理事會並びに東京サミットにおいて、石油消費五%削減の国際的合意があり、これを

誠実に履行するため省エネルギー、省資源対策推進會議を開催し、石油消費削減対策の推進を決定しました。その後政府は削減の実効確保を期して鋭意努力しているところでありますが全世界における今後の厳しい原油輸入事情のもとにあって、小資源国の我が国にとつては一層の削減運動の推進を図ることが必要不可欠であり、われわれは国民的総意を結集し、英知をもつて冷静に事態に対処し、総力をあげてこの危機を突破しなければなりません。

このため、管内全産業は政府の方針に沿い、エネルギー使用の合理化を図り、中長期的観点から産業、民生、輸送の各エネルギー消費分野にわたる省エネルギーの推進を、社民総ぐるみで企業の内外において徹底すべきであります。

また、企業のみならず家庭においても、一人ひとりに信頼と協力の精神をもって、節度あるエネルギーの消費に創意と工夫をこらし市民生活の安定と産業の振興を期し、よつて、県内経済の成長発展のため、全力を傾注されんことを提言いたします。

区分	単位	卸 売		小 売		対51年増減率%
		昭和51年	昭和54年	昭和51年	昭和54年	
商 店 数	店	1,934	1,872	5,323	5,438	2.2
従 業 者 数	人	18,903	17,885	23,944	23,509	△1.8
年 間 販 売 額	百万円	874,034	1,027,067	251,077	325,238	29.5
商 品 手 持 額	百万円	48,932	56,466	31,989	42,033	32.3
1店当り販売額	万円	45,193	54,865	4,717	5,981	26.8
1店当り従業員数	人	9.8	9.6	4.5	4.6	△4.4
1店当り商品手持額	万円	2,530	3,016	601	773	28.6
1km当り商店数	店	6.2	6.0	17.0	17.4	2.4
1000人当り商店数	店	5.5	5.1	15.3	14.7	△3.9

年内も受付

貸出しは一月に
国の特別貸付、無保証人、無担保のマルケイ貸付は、年内貸出分の申込み受付は締め切りですが調査余力と日数の許す限り、引続き受付はした上、一月中旬に貸出しができるよう、非常態勢で努めております。利用ご希望の方は、一日も早く窓口へお出下さい。

他に、市・国金等の各種制度融資も、受付はいたしますが一部特例を除き、年内貸出しはできません。ただし、緊急止むをえない場合は、一応ご希望をお聞かせ下さい。詳細は、当所金融係へどうぞ。

県の最低賃金

一日二、五六〇円
一時間 三三〇円

栃木県の最低賃金が一日二千五百六十円、一時間三百二十円と改訂され、十月十四日から実施されました。

県内で働く労働者には、すべてこの最低賃金が適用されます。このほか産業別の最低賃金が決められ、それらの産業で働く人たちは、それぞれの産業別最低賃金が適用されますが、産業別の最低賃金の方が、県の最低賃金より高い額になっています。

この最低賃金は臨時の資金、時間外、深夜、休日労働の賃金、精習手当、通勤手当、家族手当などは算入されません。

なお、労働者を一人でも使っている事業場は、労働保険、労災保険、雇用保険が適用されます。当所の事務組合等をご利用下さい。

私達の街を、家を、
もっと良く考えましょう!

所長 藤原宏史

藤原建築設計事務所

〒320 宇都宮市桜4-16-1
(☎ 0286-24-8974)

空と海で結ぶ

四国ロマンの旅

昭55.2.8(金)~11(火、祝) ¥49,500

第1日目	羽田空港→松山空港→松山城→石手寺→	道後温泉泊
第2日目	琴正→屋島→栗林公園→善通寺→	琴平泊
第3日目	参拝→大歩危→桂浜→龍河洞→高知港→	船中泊
第4日目	~~~~~東京フェリーターミナル	

100万人の信頼「ルック」

日通航空

日本通運物宇都宮航空支店
宇都宮市駅前通り1-2-5
☎ 25-5061(代)

主婦ら8人が 2級販売士検定に合格

去る十月、全国一斉に実施された第七回級小売商(販売士)検定試験の当地区内結果は、次のとおりです。
合格者数 八人(合格率一七・七%)
受験者数 四十五人(内、事前講習会受講者 十五人、内、受検者 十二人、合格者 四人)
この制度は、まだ日が浅く、内容も難しいので、厳しい競争となっており、合格者は職場において、名実共に優秀な中堅管理者として、今後の活躍と成果を期待されています。

商取引に必要 営業関係法律セミナー

あらゆる商取引が、法律を基礎とした各種の規制によって行われ、ちょっとした法律知識は、日常の商取引に、測り知れない効果を果します。あなたはこれまでに知らないための損を、又は苦労をしていませんか。
毎日の営業に、すぐ役立つ法律セミナーを、市・商連と共催で開催します。
日時 明年十一月十七日(第一回) 同 十一月廿二日(第二回) 何れも午前十時～午後四時
場所 二流山会館(無駐車場有) 講師 弁護士 野口恵二先生

54年版 商店街通行量 実態調査結果 希望者に差上げます

さきに、十月号で速報としてお知らせ済の、市内商店街通行量調査(去る七月二十一日(日)二十三日(月)実施)の報告書(B5版約八〇頁)ができました。計数グラフ等により、商店経営、商店街活動等の基礎資料として好適です。希望の方は当所商業係へどうぞ。

開催時間変更 新年名刺交換会

前月号でお知らせの、恒例一月四日(日)開催新年名刺交換会は、開会が十一時から三十分分に繰り上げられました。ご注意ください。
場所は県商工会館(四階)で変更せず、県行事のご出席も予定されております。
なお、参加申込みは、十二月十日で締切らせていただきます。



内容 手形、小切手、担保、回収、倒産、トラブル等の事例から、マーケティング活動と法規制について、その他、受講料 五千円(テキスト・食事代を含む)
定員 五十名(受付順)
申込み 受講料をそえ、当所商業係まで。
なお、委細は関係係員あて、別途お知らせをさせていただきます。

連鎖倒産を未然に防ぐ 国の中小企業倒産防止共済制度

企業防衛と節税の一石二鳥
万一の場合、掛金の10倍内で、無利子・無保証・無担保の貸付
当所(工業係)で受付中 ☎ 22-7151

法人会員の 資本金 調査 ご協力下さい

当所では内規により、会員台帳等の整備訂正をするため、三年毎に十二月一日現在で、法人会員の資本金・従業員数の調査を行います。調査依頼書を郵送いたしましたので、お早目にご回答下さい。なお、個人経営を法人に改組したり、代表者の変更等があった事業所も、この際ご回答下さい。

新会員の紹介

- タクシ 表店(七人)
 - 石材加工 栗原町三三
 - 歯科部品製造 平出町四三
 - 自動車販売 川上町三三
 - 雑貨卸 小売 一番町二三
 - 設備設計 竹田町四三
 - 建築設計 雀宮町八三
 - 飲食 戸野町二六
 - 青果物精算 築港町四三
 - 貴金属加工 天神二一九
 - 教材・書籍販売 花房三三三
 - 染色 江曾島町四三
 - 飲食 馬場通り三三
 - 鉄骨建築 花房三三三
 - 食品小売 花房三三三
 - 電気機械器具卸 今泉町九八
 - 美容 泉町六七
 - 釣具販売 平出町三三
 - 自動車部品販売 城田三三
 - クリーニング 竹林町七九
 - 飲食 本町二九
 - 江曾島丁三七九
- (計二十八人 合計五〇六二人)

能率大会の 論文募集

第二十二回全国能率大会の論文を募集しています。
論文は経営、生産、販売、人事、財務、事務、コンピュータの七部会。十二月二十一日までにハガキに応募部会名、論文テーマなどを記載して、〒105東京都港区芝公園三丁目二番地、全日本能率連盟事務局あて申込む。
主催(社)全日本能率連盟、大分県商工会議所連合会等
後援 通産省、中小企業庁
入選作品は同六月十五日の全国大会で発表する。

各種検定試験

- 珠算(縮短) 二月十日(日)
- 小売商(販売士)二級 二月二十日(日)
- 以上で、五十四年度の検定試験は全部終了します。
- 十一月
- 12月 26日 税務講習会
- 13日 税務講習会(本年度第一回)
- 14日 第二種大規模小売店舗分科会
- 15日 振興委員視察研修会
- 16日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 17日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 18日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 19日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 20日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 21日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 22日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 23日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 24日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 25日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 26日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 27日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 28日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 29日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談
- 30日 瑞穂野工業団地進出企業個別経営相談

企業は人から

◎お問い合わせは次のコーナーへ
人材開発コーナー ② 番窓口
高齢者コーナー ③ 番窓口
身障者コーナー ③ 番窓口
宇都宮公共職業安定所 ☎ 48-5251

人材開発コーナー				高齢者コーナー・身体障害者コーナー			
番号	性別	年齢	住所	番号	性別	年齢	住所
2219	男	53	宇都宮市	6078	男	56	岩曾町
6028	男	32	〃	6127	男	63	高根沢町
5283	男	49	〃	6536	男	63	宝積寺
4310	男	46	河内町	6578	男	57	鹿沼市
3610	男	42	宇都宮市	4174	男	49	雀宮4
3562	男	48	〃	4505	男	63	若草町
2973	男	54	河内町	5400	男	57	壬生町
6712	男	29	宇都宮市	1526	男	49	若草町
6024	男	29	〃	1565	男	27	平出町
4829	男	51	〃	1615	男	55	石井町
6965	男	38	河内町	1671	男	26	今泉町
2619	女	37	宇都宮市	1715	男	18	塩谷町